

2026年度 学校法人修道学園 事業計画

<大学部>

主要項目	行動計画（事業計画期間）	行動計画（単年度）
I 教育	1. 学修者本位の教育の実現	①教学マネジメント事項の実効性を高めるため、内部質保証体制に関わる組織の課題・議事を整理し、委員会審議・運営の充実に努める ②学修ポートフォリオを有効活用するため、正課に関する仕組みの構築と正課外に関する試行 ③次期カリキュラム改正に向けて、現カリキュラムの検証と学修者本位の教育についての全学的な理解を深める ④専門的職業人、知識基盤社会を支える研究者または高度専門職業人の輩出人数のため、各研究科・専攻の3つのポリシーとカリキュラムとの整合性を検証 ⑤包摂的な学生支援の仕組み構築に向けて、「機構」における学習支援の準備及び生活支援・活動支援の新たなあり方の提案と全学承認 ⑥学修者本位のカリキュラムによる成長可能性を念頭においた選抜方法の改革のため、評価指標等見直し、新たな評価指標での選抜 ⑦安定的な志願者の確保のための大学院入試の選抜方法の検証・見直し
	2. 教育の質を高めるための支援と検証体制の充実	①教育の質向上に有効と考えられる教育手法を共有する機会や、改善の必要性の有無を客観的に考える機会を実践 ②アセスメントの結果を利用したカリキュラムや個々の授業の検証 ③教育の質の向上、学修成果の向上のための施設・設備の現状分析と有効活用方法の検討 ④グッドプラクティスの試行的な収集を実施、教員活動評価表への反映（周知） ⑤TA・SA制度の運用と検証、教育に係る専門職による研修等の実施
	3. エンロールメント・マネジメントの実現	①データを一元的に扱うための仕組み（組織、手続き、システム等）検討 ②以下の内容について部局間で改善策を共有し、制度改善方針の策定 a. 学生の学習意欲の持続と向上に貢献する効果的な経済的支援制度 b. 学生のチャレンジ精神を育て、その努力を公正に評価し、さらなる意欲につなげるための表彰制度 c. 学生の課外活動の活性化と活動成果のさらなる発展を目的とした、経済的・組織的支援制度 ③同窓会や後援会と大学の連携について、新たな連携の構築と実施 ④配慮学生に対する現行体制の検証
	4. グローバル・コンピテンスの向上	①グローバル・コンピテンスを育てる教育を充実させるため、現カリキュラムの検証 ②キャンパス内において、異文化理解力を高め、多文化共生を考える機会を充実させるための分析をふまえた改善計画の策定 ③留学生を増やすための新入試制度に関する規程改正と周知

主要項目	行動計画（事業計画期間）	行動計画（単年度）
II 研究	1. 研究活動推進の全学的な機運醸成	①各教員の研究成果共有機会の実施 ②研究活動推進により注力するための組織を構築するための組織再編 ③オープンアクセス環境の運用開始と研究データの管理支援
	2. 効果的な支援による個別研究の活性化	①大学全体の研究パフォーマンスを高めるため、インセンティブ制度の実施 ②研究生産性を高めることを目的とした、研究費のあり方及び研究費の執行方法の改善を行うための詳細設計 ③RA制度に関する他大学調査等の情報収集
	3. 教育還元・社会還元のための研究成果の質的量的拡充	①外部資金獲得に関する支援の実施と件数・金額増加 ②オープンアカデミー、オープンキャンパス、Webサイト、広報物等での研究アピール手段の検討 ③職務発明の知財化を推進し、そのための支援体制を強化するための規程等見直し
III 社会貢献・地域貢献	1. 地域に開かれた大学（キャンパス）づくり	①キャンパス開放とリスク管理の両立を可能とする、各運用ルールや規程等見直し ②産学官ラボの実施 ③サテライトキャンパスの必要可否決定。可の場合、取得または賃貸等の状況にそった財政計画の変更
	2. 連携の推進と魅力ある連携事業の実現	①地域の産学官組織から委員が参画する協議会の実施 ②包括的連携協定を結んでいる連携協定先などと以下を実施 a. 連携教育事業拡大のための協議 b. 研究連携の推進（研究シーズとニーズの積極的なマッチング等） c. キャリア支援連携事業の協議
	3. 学生の社会活動の活性化	①「地域つながるプロジェクト」等を持続的な地域貢献へつなげていくために新たな仕組みの策定 ②学生の学内外の正課外活動の整理と活動を支援する事務分掌の試行と検証 ③アントレプレナーシップ育成の教育的仕組みと起業支援環境の整備の検討
IV 大学運営	1. 働きやすく生産性の高い職場環境の構築	①リモートワーク等を実現するセキュア接続方法の検討及び労働時間の適正な方法の検討 ②事務システム連携方針策定とロードマップ作成 ③優先的見直し業務の選定と改善方法の検討 ④既存委員会の課題抽出、改廃原案作成、規程等整備
	2. 健全な財政基盤の維持	①予算配分の適切性確保のための新たな体制と手続きスケジュールの検討と策定 ②事業計画と予算・決算が一体化するための新たな体制と手続きスケジュールの策定 ③資金運用方針にそった適切な運用とリスク管理 ④目標寄附額の達成 ⑤入学定員・収容定員の充足戦略の検討 ⑥諸納付金の改定

主要項目	行動計画（事業計画期間）	行動計画（単年度）
IV 大学運営	3. 個々と組織の成長につながる人財活用制度の構築	①体系的SDの継続実施 ②キャリアパス制度検討・構築 ③教員の学外業務（兼業・副業等）の適切な取り扱いを行うための規程整備 ④教職員人事マネジメント改革方針の策定
	4. 危機に強いマネジメント体制の構築	①修繕計画等の整備 ②大規模な防災訓練実施の準備 ③部局単位の定期的な防災訓練の実施
	5. 内部質保証の強化	①新たな評価サイクルの点検・評価と改善実施
V 挑戦的取り組み	1. 多様な学生が集う学び舎づくり	①学生のキャンパス生活水準向上とSDGsの達成に貢献できる校舎等の建替や改築の情報収集 ②安全なキャンパスを創るため a. ソフト面の課題の改善着手 b. ハード面の改善計画作成 ③学生の居場所づくり計画の検討とスタート
	2. 広島修道大学（修大ブランド）のプレゼンス向上	①私立大学等改革総合支援事業における地域社会への貢献タイプに採択 ②修大生のロールモデル情報の整理・公表 ③統一的なブランドイメージの横展開
	3. 活動の活性化につながる教員活動評価制度の構築	①新たな教員活動状況評価制度の周知
	4. 長期的な教育組織（学部・学科・大学院・教員組織）再編計画の策定	①社会科学の円滑な運営と検証及びAC対応 ②新学部設置認可 ③大学院組織再編準備 ④教育組織と教員組織のあり方についての情報収集